

## 第 1 回 東京都商品等安全対策協議会における 説明及び意見の概要

### 1. 家庭用エアコンの概要とコンプレッサ破裂

資料 2 参照

### 2. 事業者意識と消費者意識

#### 【事業者意識】

- ▶ コンプレッサ破裂は、誤操作・知識不足が原因で、正しい手順で知識のある者が行えば起こらない。節約のためと称して、消費者に作業させることは危険。
- ▶ エアコンの撤去工事では、電気工事や産業廃棄物運搬等で法令を遵守して実施。
- ▶ 最近の製品は中身を知らなくても使えるよう設計されている。一方で安全に絶対はなく、使い方によって危険もあることを消費者には知ってほしい。取扱説明書には、さまざまな注意・警告がある。
- ▶ エアコンは取付け・取外し作業があり他の家電と異なる難しさがある。消費者に知ってもらおうよう啓発活動もしている。

#### 【消費者意識】

- ▶ エアコン取外しのリスク等、消費者が危険性に気付かないこともある。
  - ▶ 取扱説明書等、簡略化・ダイジェスト化など消費者がすぐに手に取れるようなものが望ましい。
- ⇒ 取扱説明書の分量が増え専門用語も増す中で、消費者からは分かりづらいとの声がある。一方で、事業者は注意・警告をもれなく記載せざるを得ない。

### 3. 取組の方向性

- ▶ 本件は、作業を行った事業者・消費者の知識不足が影響している。消費者への注意喚起、作業への正しい作業手順の方法周知が必要。
- ▶ 消費者には、技術のある作業者にお願いをすることを啓発するのが最も合理的。
- ▶ 消費者に危険な作業をさせるべきでないが、個人の所有物に関しては法律で取り締まりは難しい。
- ▶ 技術のある作業者は、販売店や量販店のネットワークがあるのではないかと。販売店に依頼し、家電リサイクルルートに乗せてもらうことが良い。
- ▶ 室外機に注意喚起を貼付するなど、製品側にも取り組める事があるのではないかと。
- ▶ 情報を必要な人にどう届けるか。ホームセンターなどの場で興味がある人に情報を伝えてはどうか。
- ▶ インターネット上での消費者向け情報を注視することが必要。

#### 4. その他

- ▶ フロン放出に関しても消費者へ注意喚起が必要。
- ▶ 消費者相談情報等で消費者がどのようにエアコンの取付け・取外しを考えているか見ることも必要。ネットでみつけた事業者でのトラブルも周辺情報として整理して欲しい。
- ▶ 機器指定以外の冷媒で安価なプロパンガスを入れた場合、ガス自体が爆発し、非常に危険である。メーカー設計と異なる不当改造については責任を負えないため、防ぐべき。
- ▶ エアコンの中古品の取扱いは、国が無資格業者の取り締まりを強化。不用品回収業者による引取り等の取り締まりは環境局でも実施している。